学生主体のキャリア育成プログラム

特集 **本郷・ふじみ野「キャリア」特集**

本学では、入学当初から新入生に対して徹底した「初任次教育」により、学業へのモチベーションを高め、快適で主体的なキャンパスライフを送れるように様々な取り組みが行われています。さらに「キャリア教育」へと引き継がれ、学生が自己分析を繰り返しながら未来の夢を育て、自立した人間として社会貢献できる人材を育てるべく、学生キャリア指導の企画・推進にあたるキャリア戦略会議を中心に教職員が一丸となってバックアップしています。

今回は大学が誇るキャリア教育にスポットを当て、次の方々にお話を伺いました。担当教職員による具体的な話に加え、厳しい就職戦線を突破した4年生の企業内定者4人による体験談は、在学生への大きなアドバイスになることでしょう。

【教職員】西村信勝・キャリア戦略会議委員長（外国語学部教授）、坂本修一・本郷キャンパスキャリアセンター長、舟木玲子・ふじみ野キャンパスキャリアセンター長
【企業内定者】舎川本空輸株式会社＝菅原咲良（外国語学部）、サンスター株式会社＝戸辺康介（経営学部）、クリナップ株式会社＝山田康平（生活社会学科）、株式会社ベルク＝石田琴絵（心理学科）

両キャンパスでキャリアてっぺんフォーラム

―文京学院のキャリア指導は、「きめ細かさ」で定評があります。キャリア戦略会議委員長としての思いをお聞かせください。

西村　現在は就職氷河期ですから、学生の皆さんにとっては非常に辛い時期かもしれません。入学時は、行きたい業種、やりたい職種がすぐに判るわけではありません。それを選べるように本学では支援しますが、大事なことは就職ナビ依存ではなく、学生が自分の足で歩き、自分の目で企業を見ることです。本学の強みは、例えば航空業界の場合、1年生のころから情報を入手でき、実際に現場へ行く機会があることです。受け身ではなく、能動的な就活（就職活動）ができるよう、沢山の情報や事業を準備して側面支援をしています。そのひとつとして、今年から2年生対象に就活の基本を学ぶ「キャリアサブゼミ」を始めました。一方通行の講義ではなく、グループワーク型で職種・業種などを学ぶのですが、かなりの学生が参加しています。

3年生では「営業研究会」に繋ぎ、自分のやりたいこと、行きたい企業などが確定になるシステムにしたいと考えています。そのモチベーションを高めるために、新しく始めるのが「キャリアてっぺんフォーラム」です。様々な分野で頑張った先生を表彰する「てっぺんフォーラム」のキャリア版で、積極的に活動を支援していきます。

西村信勝キャリア戦略会議委員長

グループ活動で主体性を伸ばす

―本郷キャンパスでの具体的なキャリア教育とは。

坂本　本学では、初年次から既にキャリアに関する科目を設置しているのですが、集合教育だけでは限界があります。

そこで、小グループに分けての指導も行っています。企業の選考方法も多様化し、「グループワーク」や「グループディスカッション」など新しい手法を採り入れています。グループの中で、どのような人間関係を築けるか、コミュニケーションを取れるかが大切なポイントになります。さらには仲間と協力して結論を導き出したり、何かを創り上げていく能力も求められますので、学生が主体的にそれらのものを身につけられるように支援しています。本郷には社会人教育センターがあり、そちらとの連携で資格講座を始めとする各種講座を受けられるシステムになっています。新しい資格としてはコミュニケーション能力検定、キャリアコンサルティング技能士、ビジネス文書検定、ITパスポート、ITコーディネーター、ITパスポート、ITコーディネーター、ITパスポート、ITコーディネーター